

平成26年度  
愛知教育大学大学院・静岡大学大学院  
教育学研究科共同教科開発学専攻  
(後期3年のみの博士課程)

# 学 生 募 集 要 項

出願受付期間	平成25年 9月30日(月) ～ 平成25年10月 8日(火)
試 験 日	平成25年11月 9日(土)・10日(日)
合格者発表日	平成25年11月13日(水)



## 愛 知 教 育 大 学

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1  
入試課 電話 (0566) 26 - 2203・2202 [入学試験関連]  
FAX (0566) 26 - 2200  
教務課 電話 (0566) 26 - 2697 [大学院教務関連]  
FAX (0566) 26 - 2160  
大学ホームページ <http://www.aichi-edu.ac.jp/>



## 静 岡 大 学 教 育 学 部

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
学務係 電話 (054) 238 - 4579 [大学院担当]  
FAX (054) 237 - 6254  
大学ホームページ <http://www.ed.shizuoka.ac.jp/>

共同教科開発学専攻ホームページ <http://subdev.ed.shizuoka.ac.jp/>

## アドミッション・ポリシー（学生受入方針）

共同教科開発学専攻は、愛知教育大学と静岡大学が共同して教育課程を構成している後期3年だけの博士課程であり、教科専門と教科教育を融合・発展させた教科学と、教職専門を発展させた教育環境学とを有機的に融合させることで、独自の学問分野である教科開発学を確立することを目指し、子どもたちを取り巻く環境を視野に入れ、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑・多様化した諸課題に対応した研究を行います。

本共同専攻は、教科学と教育環境学について高度・専門的な研究を行うことで、(1)教育事象の因果関係を把握し、教科との関わりの中で学校教育が抱える諸問題に対応した研究を遂行できる能力、(2)学術的・専門的知見を教科内容として構成し、教育論、教科内容の構成原理や教育方法、教材を開発する能力、(3)学校教育の実践を理論化し、その理論を指導に活かす能力を持つ人材の養成・育成を目指します。これらについて習得する意欲があり、学位取得後、教科開発学の分野において自立して研究・実践でき、広く教育界に貢献し、大学教員を志向する人材を求めています。

## 共同大学院について

### 1. 共同して教育課程を構成する大学院(共同大学院)とは

複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し、地域の活性化、多様で特色ある教育研究を推進するため、共同で教育課程を実施し、連名で学位授与を可能とする仕組みを利用した大学院です。

### 2. 本共同大学院の主な特徴

- (1) 愛知教育大学と静岡大学の連名による学位が授与されます。
- (2) 愛知教育大学と静岡大学の両大学に在籍することになりますが、主として研究指導を担当する専任教員(主指導教員)が在籍する大学に学籍を置き、当該大学の他の学生と同様のサービスを受けることができます。また、「学籍を置かない」大学でも図書館利用などのサービスを受けることができます。ただし、一部、各大学の事情により利用できない施設等がある場合があります。
- (3) 学籍を置いた大学以外の構成大学の教員(副指導教員)からも研究指導が受けられる体制となっています。
- (4) 愛知教育大学と静岡大学の両大学で開講する、共同大学院の講義を受講することができます。

### 3. 出願大学, 受験大学, 学籍を置く大学について

- (1) 主指導教員の所属する大学には関係なく、出願書類等は愛知教育大学へ提出(郵送)し、静岡大学において入学者選抜試験を受験することとなります。
- (2) 入学後に学籍を置く大学は、主指導教員の所属する大学となり、入学手続、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、当該大学の学生として取り扱います。

入学者選抜を通じて取得した試験成績等の個人情報については入学者選抜以外の目的に用いることはありません。ただし、個人を特定しない形で統計的な調査に使用する場合があります。

# 目 次

1	分野及び募集人数	1
2	出願資格	1
3	出願手続	2
4	受験票の交付	5
5	選抜方法	5
6	試験会場	6
7	合格者の発表	6
8	入学手続	6
9	出願資格に関する事前審査	7
	共同教科開発学専攻専任教員一覧	8
	試験会場・交通案内	9

# 学生募集要項

## 1 分野及び募集人数

### 共同教科開発学専攻

分野	募集人数	
	愛知教育大学	静岡大学
教育環境学	4名	4名
人文社会系教科学		
自然系教科学		
創造系教科学		

(合格者数が募集人数に満たなかった場合、追加募集を行うことがあります。)

## 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 修士の学位又は専門職学位（学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者（平成26年3月31日までに取得見込みの者を含む）
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成26年3月31日までに取得見込みの者を含む）
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成26年3月31日までに取得見込みの者を含む）
4. 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成26年3月31日までに取得見込みの者を含む）
5. 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設置された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（平成26年3月31日までに取得見込みの者を含む）
6. 外国の学校、前述4の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（平成26年3月31日までに合格見込みの者を含む）
- 7\*. 後期3年博士課程への入学に関し、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
  - (1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本共同

専攻において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本共同専攻において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

8\*. 本共同専攻において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに24歳に達している者（修士論文と同等以上の価値があると認められる顕著な研究業績（著書や学会誌に掲載された学術論文等、又は芸術系の作品発表等、体育系の実技歴等）を有する者）

\*出願資格 7 及び 8 により出願しようとする者は、7 ページに記載する「9 出願資格に関する事前審査」により、出願資格認定のための審査を受けなければならないので注意してください。

### 3 出願手続

#### (1) 出願書類等

書類等	提出該当者	提出部数	摘要
① 入学願書	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
② 修了（見込）証明書（修士課程又は専門職学位課程のもの）	修士課程又は専門職学位課程修了（見込）者	1 部	出身大学長又は研究科長等が作成したものを提出すること。
③ 成績証明書（修士課程又は専門職学位課程のもの）	修士課程又は専門職学位課程修了（見込）者	1 部	出身大学長又は研究科長等が作成し、厳封したものを提出すること。
④ 受験票、入学検定料受付証明書貼付票、写真票	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し、日付印の押された入学検定料受付証明書を貼付し、切り離さずに提出すること。ただし、東日本大震災の被災者である場合は、「検定料受付証明書」の貼付に代え、り災証明書又は被災証明書を1部提出すること。
⑤ 受験票送付用封筒	全 員	1 部	所定の封筒に出願者の住所、氏名を記入し、返信用郵便切手（350円分）を貼って提出すること。
⑥ 宛名票	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
⑦ 出願書類等提出明細票	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
⑧ 修士論文等の写し	修士課程又は専門職学位課程修了者	2 部	修士論文等とは、次の(1)～(3)のいずれかとする。 (1) 修士論文 (2) 修士論文作成以降、現在までに発表した論文 (3) 特定の課題についての研究（課題研究）の成果 <b>所定の「修士論文等」を表紙として提出すること。</b> また、上記(1)～(3)において日本語又は英語で書かれたもの以外は、和訳を付すこと。

⑨	修士論文等の進捗状況報告書	修士課程又は専門職学位課程修了見込者	2部	A4判の用紙を使用し、修士論文等の進捗状況報告書（修士論文等の中間報告書）をまとめ、 <b>所定の「修士論文等」を表紙として提出すること</b> 。また、最終ページに指導教員等による報告書の内容に対するコメントを記載者の職名・署名入りで付すこと。
⑩	修士の学位相当以上の論文の写し	出願資格7及び8により出願する者	2部	修士の学位相当以上の論文とは、学会誌に掲載された学術論文等をいう。 <b>所定の「修士論文等」を表紙として提出すること</b> 。また、日本語又は英語で書かれたものの以外は、和訳を付すこと。
⑪	修士論文等（修士の学位相当以上の論文、修士論文等の進捗状況報告書を含む）の概要	全 員	3部	A4判の用紙を使用し、修士論文等（修士の学位相当以上の論文、修士論文等の進捗状況報告書を含む）の概要を和文で4,000字以内（英文の場合は2,000語以内）にまとめ、 <b>所定の「修士論文等の概要」を表紙として提出すること</b> 。
⑫	研究計画書	全 員	3部	本共同専攻において研究しようとする課題、3年の在籍期間における研究の計画、研究の方法、この課題についての研究の現状、本人のこれまでの研究との関連等について和文で2,000字以内にまとめ、 <b>所定の「研究計画書」を表紙として提出すること</b> 。
⑬	研究業績一覧	全 員	3部	修士論文等以外で本専攻において研究しようとする課題に関連のある著書・論文・口頭発表・作品発表等の研究業績一覧を所定の用紙に記入し、これまでの研究の概要を和文で2,000字以内にまとめ、 <b>所定の「研究業績一覧」を表紙として提出すること</b> 。
⑭	承諾書	該当者	1部	在職中の者で、現職のまま本共同専攻に入学しようとする者は、 <b>所定の「承諾書」を提出すること</b> 。

### 【外国人留学生の場合の追加提出書類】

⑮	在留カード等	日本に在住する外国人	1部	日本に在住する外国人は、次のいずれかの証明書を提出すること。 ア 在留カード又は外国人登録済証明書（在留資格・在留期間を明記したもので、市区町村長の発行したもの） イ 入国査証の写し（記載事項のある全てのページ）
⑯	日本語能力についての調査書	外国人留学生	1部	所定の用紙を用い、日本語教育機関（日本語能力試験N1レベル以上）又は修士課程等の指導教員が作成（厳封）したものを提出すること。
⑰	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生	1部	在籍している大学発行の国費外国人留学生証明書を提出すること。

- (注) 1. 出願書類は日本語で記載してください。  
2. 証明書等、英語以外の外国語による記載のものについては、必ず和訳を添付してください。  
3. 提出書類のうち⑧⑨⑩⑪⑫⑬については、必要部数をコピーして、それぞれ一箇所ずつクリップ（又はダブルクリップ）留めにしてください。  
4. 各証明書と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書を添付してください。  
5. その他必要に応じて証明書等の追加提出を求める場合があります。

## (2) 入学検定料の振り込み

検定料 (30,000円)

・平成25年9月24日(火)から10月8日(火)までの間に本要項に同封の「**入学検定料払込書**」の「ご依頼人欄」に志願者本人の氏名(3ヶ所)住所等(2ヶ所)を記入し、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口現金を添えて払い込み、検定料を払い込んだことを証明する「入学検定料受付証明書」(振替払込受付証明書：日附印があるもの)を「入学検定料払込受付証明書貼付票」の所定の欄に貼り付け、出願書類と一緒に提出してください(払込手数料は本人負担)。なお、志願者本人又は学資負担者が、平成23年3月に発生した東日本大震災の被災者である場合「**り災・被災証明書**」を提出することにより、入学検定料の払い込みが免除されます。

払い込まれた検定料は、次の場合を除き、返還しません。

- (ア) 出願書類を提出しなかった場合 (返還額：振込手数料を差引いた額)
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- (ウ) 出願書類が受理されなかった場合 (返還額：振込手数料を差引いた額)

\* 検定料の返還請求方法

- ・上記(ア)又は(イ)の場合

愛知教育大学財務部財務企画課出納担当係 TEL (0566) 26-2147へ申し出て  
ください。

- ・上記(ウ)の場合

愛知教育大学入試課よりその旨を連絡します。

## (3) 出願方法

出願者は、出願書類を一括して郵送にて提出してください。封筒の表に「博士課程出願書類在中」と朱書し、必ず**書留郵便**で送付してください。

## (4) 出願期間

平成25年9月30日(月)から10月8日(火)まで(郵送に限ります。10月8日(火)17時まで  
に愛知教育大学入試課に必着のこと)

## (5) 出願書類等の送付先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1  
愛知教育大学入試課  
TEL (0566) 26-2203

(注) 出願受付は、愛知教育大学のみで行っています。静岡大学には送付しないで  
ください。

## (6) その他出願に際しての留意事項

- ア 出願書類提出後における記載事項の変更は一切認めません。
- イ 出願書類に不備があるときは、受理しないことがあります。
- ウ 受理した出願書類は返還しません。
- エ 身体に障害のある者で、受験に際して特別の配慮を必要とする者は、平成25年9月9日(月)までに申し出てください。

### (7)研究指導教員について

本共同専攻の趣旨に基づいて、入学後に各学生に対し主指導教員及び両方の大学から少なくとも1名以上の副指導教員を配置し、3名以上の教員の指導の下で研究を行うこととなります。出願に際して、主指導教員として指導を受けることを希望する教員を8ページの「共同教科開発学専攻専任教員一覧」に記載されている教員のうち、\*印を付してある「主指導教員となり得る教員」の中から選び（第2希望は空欄でも可）入学願書に記入してください。その場合、大学をまたいで主指導教員を選択して希望することも可能です。また、副指導教員については、入学後、主指導教員の指導の下に共同専攻所属教員の中から選ぶこととなります。

## 4 受験票の交付

受験票、受験案内は、平成25年10月22日(火)頃に愛知教育大学より郵送します。

## 5 選抜方法

### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と外国語（英語）筆記試験、小論文試験、口述試験の結果を総合して行います。

### (2) 試験の日程

実施日	試験科目等	試験時間
平成25年11月9日（土）	外国語（英語）筆記試験	9：30～10：30
	小論文試験	11：00～12：30
	口述試験	13：30～
平成25年11月10日（日）*	口述試験	10：00～

\* 受験者数により口述試験は9日のみの実施とする場合があります。

### (3) 試験の内容

#### ① 外国語（英語）筆記試験（配点：100点）

教育に関する分野を扱った英文で研究に必要な英語力を問う（電子辞書を含む辞書の持ち込み可）。

#### ② 小論文試験（配点：100点）

教育に関するテーマを出題する。

#### ③ 口述試験（配点：200点）

これまでの研究内容と入学後の研究計画等を中心に行う。

過去の共同大学院の入試問題は、愛知教育大学附属図書館、静岡大学入試情報閲覧室（静岡キャンパス共通教育A棟4階）、静岡大学教育学部学務係にて閲覧することができます。



## 6 試験会場

静岡大学 教育学部 B棟

所在地：静岡県静岡市駿河区大谷836

TEL：(054)238-4579

(詳細は、受験票送付時に同封する受験案内で確認してください。)

## 7 合格者の発表

日時：平成25年11月13日(水) 10時

発表方法：合格者の受験番号を愛知教育大学及び共同大学院のホームページ及び学内掲示版に掲載します。

愛知教育大学 <http://www.aichi-edu.ac.jp/>

共同大学院 <http://subdev.ed.shizuoka.ac.jp/>

- ・合格者には、合格通知書を即日郵送します。
- ・入学手続関係書類については平成26年2月上旬(予定)に郵送します。

注) 電話その他による合否の照会には一切応じません。

## 8 入学手続

### (1) 入学手続期間

#### 愛知教育大学に学籍を置くことを許可された者

日時	場所
【持参の場合】 平成26年3月13日(木) 9:00~16:00 (ただし、12:00~12:45を除く)	愛知教育大学大学会館
【郵送の場合】 平成26年3月7日(金)~3月12日(水) 必着	

#### 静岡大学に学籍を置くことを許可された者

日時	場所
【持参の場合】 平成26年3月13日(木) 9:00~16:00 (ただし、12:30~13:30を除く)	静岡大学教育学部学務係
【郵送の場合】 平成26年3月7日(金)~3月12日(水) 必着	

両大学とも、上記期間内に入学手続をしなかった場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

### (2) 納入金(入学料・授業料・保険料)

納入金については、合格者宛てに送付する「入学手続要項」にて案内します。入学手続の前に学籍を置く大学指定の払込書にてゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で納入してください。

入学料	282,000円《平成25年度実績額》
授業料前期分	267,900円《平成25年度実績額》
(授業料年額	535,800円)

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学科及び新授業料を適用します。

(注) 1. 入学料、授業料の納入方法については、合格者に平成26年2月上旬（予定）に送付する入学手続要項において案内します。

2. 入学料は、入学手続までに必ず納入してください。

3. 前期分授業料については、平成26年4月中に納入してください。

4. 入学手続完了者が、平成26年3月31日までに入学を辞退しても、納入済の入学料は返還しません。

5. それぞれの大学において入学料免除等の規定があります。詳細は、学籍を置く大学に問い合わせ下さい。

## 9 出願資格に関する事前審査

「2 出願資格」（1ページから2ページに記載）のうち7及び8のいずれかによって出願しようとする者は、出願書類を提出する前に、下記に記載する出願資格認定審査を受けなければなりません。

### 【出願資格認定審査申請・審査方法等】

(1) 提出書類	①出願資格認定申請書	所定の用紙によること。
	②履歴書	所定の用紙によること。
	③卒業証明書	出身大学の学長が作成したものを提出すること。
	④成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したものを提出すること。
	⑤研究歴申立書	所定の用紙によること。
	⑥研究業績書	所定の用紙を表紙に用いること。 修士の学位相当以上の論文の別刷又は研究の成果（写し）を添付すること。芸術系の場合は作品発表等、体育系の場合は実技歴等の内容を合わせて提出すること。

なお、必要に応じて各種証明書等の追加提出を求めることがあります。

### (2) 提出方法

提出方法は、「書留速達」による郵送のみとします。

ア 提出期間：平成25年9月2日（月）～9月9日（月）（期間内必着）

イ 提出先：〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学入試課 TEL (0566) 26 - 2203

### (3) 審査方法

提出書類による書面審査を行い、必要な場合は口述試問による審査を行います。

### (4) 口述試問

口述試問は、選択する分野に関連する事項について質疑応答を行います。なお、口述試問を実施する必要がある場合は、場所・日程等について、申請者に個別に通知します。

### (5) 審査結果の通知

審査の結果は、出願受付開始日までに申請者に通知します。

## 共同教科開発学専攻専任教員一覧（主な担当授業科目と研究テーマ）

分野 \ 大学		愛知教育大学	静岡大学
研究指導教員	教育環境学	<p>*都築 繁幸（教授・教育学博士） 特別支援学校経営論（障害者教育方法・教育課程，障害者高等教育）</p> <p>尾形 和男（教授・教育学博士） 家庭環境論（家族と父親の人格発達論，子どもの発達・適応）</p>	<p>*山崎 保寿（教授・学術博士） 学校経営論（教育課程経営，キャリア教育，校内研修）</p> <p>村越 真（教授・心理学博士） 学校危機管理論（自然体験活動の危機管理，生涯スポーツ）</p>
	人文社会系教科学	<p>*西宮 秀紀（教授・文学博士） 歴史教育内容論（古代東海地域史論，日本古代史資料論）</p> <p>*稲葉みどり（教授・学術博士） 言語教育内容論（英語教授法，異文化理解教育，日本語教授法）</p> <p>*野地 恒有（教授・文学博士） 民俗学教材論（日本民俗論，博物館教育論，歴史民俗博物館論）</p>	<p>*白畑 知彦（教授・文学博士） 外国語教育論（第2言語としての英語習得・日本語習得研究）</p> <p>*黒川みどり（教授・文学博士） 歴史教材論（日本近現代史・思想史，ジェンダー史）</p>
	自然系教科学	<p>*稲毛 正彦（教授・理学博士） 理科教育内容論（環境科学による教材開発，科学技術活用論）</p> <p>*岩山 勉（教授・理学博士） 物理教材論（理科におけるものづくり教育，先端科学技術活用論）</p>	<p>*丹沢 哲郎（教授・教育学博士） 理科教育論（アメリカ理科教育史，科学的リテラシー論）</p>
	創造系教科学		<p>*新保 淳（教授・教育学博士） 体育教育論（身体教育論，授業研究論，体育哲学）</p>
授業担当教員	教育環境学	<p>子安 潤（教授・教育学修士） 教育課程論（授業構成論，教材研究方法論，学力論）</p> <p>石川 恭（教授・教育学博士） 遊び文化環境論（教育社会論，余暇教育論，生涯スポーツ論）</p>	<p>村山 功（教授・教育学修士） 教育工学論（学校図書館，理科・情報教育，授業研究）</p>
	人文社会系教科学	<p>中田 敏夫（教授・文学修士） 多言語多文化教材論（母語リライト教材論，母語保持政策論）</p> <p>伊藤 貴啓（教授・理学博士） 地理学教材論（農業地理論，経済地理論，地誌論）</p>	
	自然系教科学	<p>飯島 康之（教授・教育学修士） 数学教材論（学習環境・コンテンツ開発論，授業研究）</p>	<p>熊倉 啓之（教授・理学修士） 数学教育論研究（教材開発論，小・中・高接続カリキュラム論）</p> <p>小南 陽亮（教授・理学博士） 生物教育内容論（里山の生物多様性の保全，生物種間相互作用）</p> <p>澤渡 千枝（教授・学術博士，工学博士） 教育プレゼンテーション論（連携による科学教育法の開発）</p>
	創造系教科学	<p>古田 真司（教授・医学博士） 保健教育内容論（学校保健論，養護教育論，健康管理論）</p> <p>筒井清次郎（教授・理学博士） 体育教育内容論（運動学習論・認識論，身体の協応，運動有能感）</p>	<p>北山 敦康（教授・芸術学修士） 音楽教育論（器楽指導法，吹奏楽指導法，授業デザイン）</p> <p>小川 裕子（教授・工学博士） 家政教育内容論（ものづくり・異世代交流体験と家庭科教育）</p> <p>伊藤 文彦（教授・芸術学修士） 美術教育論（デザインリテラシー教育論，鑑賞方法）</p> <p>松永 泰弘（教授・工学博士） 技術教育内容論（ものづくり教材開発・地域ものづくり交流）</p>

\* 主指導教員となり得る教員

**試験会場・交通案内**  
**(1) 静岡大学周辺MAP**



**(2) 静岡大学への交通案内**

JR 静岡駅北口バスターミナル⑧番乗り場から「静岡大学」又は「東大谷」行きに乗車し、「静岡大学」又は「静大片山」下車（バス乗車所用時間25分）徒歩10分

**(3) 試験会場（静岡大学）案内図**

